

Introduction

日はまた昇り、そしてまた沈む。ともに眠りについた時、私は骨になっていた。

日はまた昇る。埋もれた骨のその上で。

日はまた昇る。空流れる雲は絶え間なく。

だから私は夢を見たい。移れる色のただ中で。

だから私は夢を見たい。いつかは醒めるその夢を。

皆さん、あなたには理想がありますか？

現実とは程遠いかも知れない。

でも、それでもなお、あなたが信じる、そういう理想というものが。

あなたが描く幻想。そしてその景色。あなたの、“夢”。

今、ここで、思い出してください。

あなたが見る“べき”世界！あなたの、青写真。

さて、その青写真、それが色褪せ、セピアに染まるまで、あなたは何かができるでしょうか

その写真を眺めることは至って簡単です。

日記にでも書けば終わる。友達に語ればいい。

酒でも飲みに行った時、愚痴っていればいい。

果たして、それで良いのだろうか？

それで構わない人はここにおりますか？

この中に、理想を捨てた人はおりますか？ なるほど。

私は、それほどつまらぬことはないと考える。

一人の人間として、一人の学生として。

だが、いくらつまらぬものと憤慨してみせても、一人でできることはあまりに乏

しい。あまりに無力です。

でも、それがただの夢ではないから。実現の意志があるからこそ、我々は語っているのではないですか？

しかし！！

しかし！！！！いくら語っても現実には動かない。

我々は常に批判され、反論され、時には殴られることさえある。

我々は言葉の無力を、そして論理の無力を知っている。

。(具体例)

(何故か。それは)

(他者という記号導入の必要性)

(結局のところ、言葉は、言葉に過ぎないのです。)

人は経験に基づいて、あらゆる物に対して、違った意味と異なる価値を与えている。それが言葉に込められるのであるからして、言葉とは認識そのもの、あなた

の現実と不可分なものであります。それはその人のリアリティ、と同時に、他者との断絶線！言葉は鏡でできた壁です。そこから見える世界はあなたの世界でしかない。わたしとあなた、その壁を言葉で乗り越えることはできない。

言葉は言葉に過ぎないのです。

見落としてはいけない。

他者という“外部”、あなたの知らない“世界”

自己の認識を絶対化し、他者の存在を無視すれば

そこは記号のディストピア、言葉の、あなたの閉鎖空間に他ならない！

あなたの殻を、そして他者との壁を直視しよう。

言葉だけでは無意味な、そして孤独な議論を続けるだけであります。

言葉だけでは、論理だけでは、伝わらぬことで人の世は溢れている。

（言葉に踊る凡庸な羊はその時すでに理想を、“リアリティ”を奪われている！！）

言葉によって！！)

ならば！！ならば、我々は何をなすべきか。

この世界は記号の世界、しかし、人は存在であります。

我々は決して記号の奴隷ではない。

寧ろ、今、ここにあるこの身が、この存在が世界をなしているのです。

そう、世界はそして現実是我々の意志で成っている！

この世界はこの手で、この身で動かせる！！

言葉ではなく、あなたの身をもって、あなたの意志を外へ外へ、世界へ示してい

くことが、まさに！至上命題なのであります！！

ディストピアの破壊！鏡を、壁を叩き割ること！！

あなたのその、妥協しない理想というものを。あなたの真のリアリティを。

それをただの夢、ただの言葉で終わらせてしまっても良いのだろうか？

夢見る羊で良いのだろうか？

否！否！！ 否と答えてくれ給へ！

語ることしかせぬ者に何の意味があるだろう？

言葉に幻想を託し、それを食うだけの生き様に、

現実という記号に隷属し、その可変性から、行動の可能性から目を背け、夢みる

だけの生き様に、何の価値があるというのだろうか！！

言葉に何ができる？記号に何ができる？

その先に答えはない！そこは！！世界ではない！！ディストピアだ！

合理化記号化ディストピア！可能性の放棄、幻想への逃避！

僕は夢を見たい。飼いならされた羊のように群がり、いつまでも変わらぬ明日を
生きるなら。そして理想を忘れてしまうなら。

生きていることの、生きてきたことの、そして生き続ける一人の人間として
その意志を「世界」に実現してみせてこそ、それが限りなく困難であったとして
もそこへ立ち向かってこそ、人生を！人として生きるということではないの
か！！

確かに、私も一介の学生に過ぎません。この現実で出来うことは限られている
かも知れない。それに！どうすればいいのか、
それを十全に知っている訳でもない。

ですが、私もまた、あなたたちと同じ、理想を抱く学生です。そしてそれを理想
で終わらせるつもりはさらさらない。寧ろ、この現実を飛び越えるために、世界
を動かしてみせるために、私は学び、そして声を張り上げるのであります。

他者であるあなたに！あなたの前で！こうして声を張り上げるのであります！

皆さんはどうでありましょう？

あなたはどうですか！！あなたは？そしてあなたは？

いかがです？あなたは今理想のために何をしている？何をしているのか？

あなたは為さねばなりません！理想のために出来うる全てのことを。

語るだけでは、言葉の殻に閉じこもり、意志を腐らせてしまっは！！

あまりに凡庸！あまりに退屈！そして、あまりに虚しい！

凡庸ではいけない。羊ではいけない。人は理想のために現実を動かさなければならぬ！！

現実への意志なき言葉など虚構だ！嘘だ！

冷めた舌で語るロジックに、或いは小賢しきレトリックに、

惚れる者などいるものか！！

言葉は力なりだが言葉は無力だ。それが言葉であるゆえに！

その身に問うて考えて欲しい。あなたに立ち返って、

あなたが今あるその意味と、あなたが語るその意義を！！

我々は！主体であります。世界を、そして言葉を、受け止める主体かつ、それを

実現させる主体。まさに、まさにまさに行動によって！！力によって！

理想が！あるゆえに！

他力本願あぐらをかき、舌だけ動かすなら！それはただの愚痴に過ぎん。

いくら筋を通そうと、どれだけ熱く語ろうと、

それはただの芝居、自己への冒涇！永遠の欺瞞！！

だから僕は夢を見たい。いつかは醒めるその夢を。(世界の重要性 現実の重要

やりすぎ=内実を示せ 世界及び外部の定義 デイストピア批判につなげるこ

と

ダイナミックな、意志に溢れた（ディストピア）　　へ！！

人は世界に辿り着かねばならない！世界にたどり着くこと、則ち、理想を以って
現実へ、力へ辿り着こうともがき続けること。

現実への躍動！そのリアルの為に！！

世界は満ち満ちている！未知なものに！決して見果てぬその果てに！

君の理想のその先に！！

あなたと世界の関わりは本来、実に実に多様！多様かつ無限！

知り得ぬものとの邂逅！そしてダイナミックな可能性！

そこでこそ人は真に人である。意志を持った一つの！！一つの存在！

夢じゃない！現実のために！立ち止まらずに、立ち止まらずに！！

やはり足りない。

足りないのです！！語るだけでは！想うだけでは！あなただけでは！

さあ行動を！君の理想が真実ならば！それが嘘でないのなら！！

さらなる外部へ、存在へ！！実現するということ！！

諸君、共に世界を彩ろう！ここに生きる確かな存在として、ここに在る一つの意志として僕は、そしてあなたは、我々は今、ここにいる！！

理想のために全てを！そして行動を！！今、この場を、芝居から現実へ。

僕に見せてくれ給へ！！君の意志、そして行動を！行動を！！

共に語ろう。人間の言葉として。遥かに重い、その声を。

そして告げよう、今は小さな宣言として。世界を動かすその意志を！

ともにともに示そうではないか。僕は本気だ、本気だとも！

（諸君は本気か？君は本気か？君はどうか？君は？君は？君は？そして！僕は。

僕に期待してくれ給へ、ともに生きる若者として、一人の男として！

そして、僕は！若き諸君に、君に！期待する！！！！